

# 設立趣旨書

## 1 趣 旨

Jリーグが設立されてからここ十年、サッカーに対する関心は各世代において特に高まりつつあります。それに伴い少年・少女のサッカーチームの増加、またシニア世代の健康増進のためのサッカー人口も増えています。

その中でも草の根サッカーといわれる少年・少女のサッカーチームの活動は、ボランティア活動によって支えられています。そのようなボランティア活動をする方たちから「草の根サッカーを支援する冊子」を作ってほしいという声があがりました。草の根サッカーを支える多くのボランティアの人たちは、平日は仕事を持ち、週末に子供たちの指導をしています。そのような活動を支え、サッカーというスポーツを通してより健全な青少年育成のために役立つための情報誌を作ろうと、2010年の4月より活動を始めました。その過程の中で、ジュニア世代だけでなく、健康維持・増進のためにサッカーをするシニア世代の活動に出会いました。

「あさ風サッカークラブ」という名称で会則を作り、活動を支えてくださるサポーターと呼ばれる方たち（会員）や活動を支援する寄付者の応援を得て、ジュニア・シニアチームのサッカー活動を冊子「あさ風」を発行し、サッカー等のスポーツに関連する情報を発信して5年半になりました。

全国にその趣旨に賛同する方たちが150名を超え、メールによる配信は2000名以上になると思われます。任意団体としての活動では、その責任や継続性に限界があること、全国で応援くださる人たちのためにも地域の行政や関連団体との連携を深めていき、社会的に認められた公的な組織にしていくことが必要であると考え、特定非営利活動法人としての組織に移行することにしました。また、この団体は営利が目的ではなく、多くの人たちに参加して頂くことが不可欠であるという点から、特定非営利法人格を取得することが最善であると考えました。

これからの活動は、サッカーをベースにしたさまざまなスポーツ情報の発信だけでなく、スポーツを中心とした地域のコミュニティ作りのための講演会開催などを開催します。それが、地域の世代を超えた交流になり、地域のつながりを強くし、ジュニア世代もシニア世代も健康で精神的にも豊かな日々を過ごせる基盤になればと思い、NPO法人としてより多くの非営利事業に取り組んでいきたいと思えます。

平成27年12月6日

NPO法人 草の根サッカー支援 あさ風  
設立代表者 古矢眞知子

